

18 住宅火災

【関連章第7章1】

事例2 「コンセントに接続されたプラグのトラッキングにより出火した火災」

出火時分 4月 7時ごろ
用途等 共同住宅 耐火造 14/1 延 10,000 m²
被害状況 建物ぼや1棟 内壁若干等焼損
概要

この火災は、共同住宅の4階居室から出火したものです。

出火原因は、居室で使用していたテーブルタップのプラグ部分でトラッキング現象が起き、出火したものです。

居住者は居室で身支度をしていると、「ボン」という音が聞こえたため、確認するとタンスの後方から炎が立ち上がっているのを発見しました。

居住者は、窓を開放し、炎からタンスを離れた後に出火していたコンセント付近を確認したところ、炎はすでに消えていたため、その後自身の携帯電話で119番通報を実施しています。

教訓等

この火災は、タンスの後方に隠れたコンセントに接続されたテーブルタップのプラグ部分で出火した火災です。出火時、テーブルタップには電気機器の電源プラグは差さっていましたが使用していない状態でした。

トラッキング現象は、通電状態のコンセントにプラグが差さっていれば、ほこりや湿気等の影響で発生する恐れがあります。トラッキング現象による火災を防ぐためにも、長期間差したままのプラグは乾いた布などで清掃し、定期的にプラグ部分を確認するとともに、発熱などの異常がある場合は使用をやめましょう。



写真 18-3 出火箇所の状況



写真 18-4 焼損したプラグ部分の状況